



# SESERAGI—MISHIMA ROTARY CLUB WEEKLY REPORT

クラブ  
週報

2024～2025年度 RI会長 ステファニーA.アーチック  
RIテーマ ロータリーのマジック

クラブテーマ「ロータリーの理解を深め、地域社会にロータリーのマジックを広めよう」

会長 仲原実圭 幹事 原 兄多

## 第1597回例会

2025. 3. 14(金)晴

司会: 高村勝則君

ロータリーソング「我等の生業」 指揮: 杉山寿美子君

事務所 三島市泉町9-8 1F南  
TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ

検索

例会場 呉竹

TEL.055-975-3210  
毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

## 会長挨拶

会長 仲原実圭君



3月度は水と衛生活動月間です。

ロータリークラブ初の奉仕活動が、アメリカ・シカゴ市への公衆トイレの寄贈だったことをご存知でしたか？

当時(1905年ころ)は統計によると1800年530万人だったシカゴ市の人口は1900年には8475万人に、工業生産は年120億ドルから1兆3200億ドルと100倍にも達し、世界一の工業国へ発展していました。「偉大なる田舎」ミシガン湖から強く吹く風の町といわれたシカゴは、ギャングのアルカポネや鉄道王のブルマン出生の地として有名ですが、シカゴ市の東オハイオ州のクリーブランドで1870年石油会社を興したロックフェラーは1890年に有名なシカゴ大学を設立しました。又、シカゴの東の鉄鋼業を巨大化したのがアーノルド・カーネギーでのちのUSスチールとなります。また数々の大学も設立しました。これ程急速に人口が増えると、インフラ即ち社会基盤の整備が追いつきません。今はシカゴ市のシンボルとなっている公園の美しいミシガン湖は、市から流れ込む糞尿の匂いに溢れ風に乗って市の中心部へ流れ込む有様です。つまり街のスラム街は糞尿がたれ流しの有様でした。大都会のシカゴ、孤独なシカゴ、不衛生なシカゴ。ポールハリス等4人によってつくられたころの時代背景はこのようなものであったし、社会奉仕活動として最初にシカゴ市へ公衆トイレを寄贈したのもこのような歴史的背景があったからなのです。その公衆便所をつくったきっかけは、4人のロータリークラブの創設者の1人が知人の弁護士ドナルド・カーター氏に入会を勧めたところ「単にメシを食う会なら入会はお断り、何か有意義なことをするならば大きな将来性をもっているのだから何かをするべきだ。それなら入会する。」というのがきっかけでした。そこでシカゴロータリークラブ第三条に次の文章を加えました。

「シカゴ市の最善の利益を推進し、その市民としての誇りと忠誠心を普及せしめること。」

ロータリーは「職業奉仕」とよく言われていますが、実は創設当初より「社会奉仕」の活動はロータリーの目的だったことがよくわかります。

今日はロータリーの国際奉仕活動の中からトイレに纏わる事例をご紹介します。



これは、川崎RCが地区補助金を利用して2020-21年度から3年間にわたり、カンボジア王国のシュムリアブ州の小学校・中学校に合わせて7つのトイレを新設・寄贈した事例です。



左がアフリカ大陸・ウガンダへの寄贈。こちらも大磯RCが地区補助金を利用しての国際奉仕活動です。クラブからの支出は45万円という事です。2020年ころの為替レートは1ドル105円/\$だったので、今の為替レートから計算すると約70万円という事です。

右の事例は、東京世田谷RCがグローバル補助金を活用して行っている国際奉仕事業です。2015年より取組んでおり、毎年10校程度のトイレの改修工事を行っているそうです。



今日ご紹介した活動報告等は「ロータリーの友」電子版より引用致しました。「友」電子版は1956年5月号から今日までの記事をご覧できます。是非ご利用ください。 ID:2620-01845 パスワード:01845-241

ようこそせせらぎ三島  
ロータリークラブへ

道場睦也さん(山本君・三輪君のゲスト)

## 出 | 席 | 報 | 告 |

	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前々回	33/39	84.62%	34/39	87.18%
今回	23/40	57.50%	会員総数	41名

### 欠席者

あなたが見えなくて残念でした。

新井君、伊丹君、入江君、遠藤君、大村君、岡君、加藤(貴)君、小島君、杉橋君、田村君、土屋君、中山君、原君、藤川君、矢岸君、吉村君、渡邊君

(\*出席免除会員の欠席者 片野君)

## 3月度理事・役員会報告

日時 2025年3月7日(金)19時30分~20時00分

場所 呉竹(例会場)

(理事)仲原、岡、服部、高橋、原、杉橋、遠藤、大村、藤川  
(役員兼任)、高村、大川

(役員)小島(オブザーバー) ……クラブ懇話会より

### 議事録

1. 会長挨拶(仲原会長)

2. 成川尊裕君の入会審議について(会員増強・維持委員会)  
→ 一同異議なし(承認)

会員諾否のお伺いをメンバーに送付する

米山奨学生受け入れおよびカウンセラーの選任について  
(副会長)

受入が決まりそうである。対面式を4月に静岡で行う予定である。ついては、カウンセラーを高橋麻子君にお願いしたい。

クラブからの支出は年数万円の予定で、奨学金等は米山奨学金より支払われる。クラブに対しては、正式に決まり次第報告し、例会時に説明をする。対面式まで時間が無いため、取り急ぎ受け入れとカウンセラー選任を承認して欲しい。

→ 一同異議なし(承認)

3. 連絡事項

事業のHP更新がされていないので、各委員会は公共イメージ委員会に事業が終わり次第報告して欲しい。出席扱いについて、委員会による奉仕事業は出席扱いである旨あらためて周知して欲しい。



## スマイルボックス

3月7日のスマイル

大村典央君:昨日、少しだけ嬉しい出来事がありましたのでスマイルします。

藤川智徳君:先日の青少年奉仕活動「熱狂フェス」出店参加にてご参加いただいた会員の方々お疲れ様でした。特に早朝からラストまで活動してくれた田村君、三輪君、高村君、岡さんどうも有難うございました。あと先日のゴルフ同好会コンペで優勝しました。ありがとうございます。

渡邊仁也君:18年ぶりに飛行機に乗れました。スマイルします。

新井博薫君:卓話頑張ります。叱咤激励の叱咤は後日お受けいたします。

中山和雄君:早退しますのでスマイルします。

加藤正幸君:パッケージプラザカトウではビッグセールを明日までやっております。ぜひご利用ください。女性スタッフお待ちしております。

田村康晃君:来週の3月14日はホワイトデーですね。バレンタインのお返しで忙しいので例会は欠席させていただきます!本当は取引主任士の免許更新です。

仲原実圭君:うちのカーチャンがゴルフコンペで2位になりましたのでスマイルします。

佐野彰重君:ゴルフコンペで3位になりましたのでスマイルさせていただきます。

芹澤宏昌君:ゴルフコンペお疲れ様でした。田村さんのおかげで楽しめました。スマイルします。

野村諒子君:皆さんこんばんは。今2月議会中ですが、大変盛り上がっています。市民の皆さんの声を生かして良いまちにしたいと思っています。皆さんの市への要望、おかしいと思うことがありましたら聞かせてください。よろしく。

三輪暁生君:建設機械の教習所「静岡トレーニングセンターSUN」開校しました。重機の免許を取りたい方お待ちしております。

宮澤友一君:2月に卓話を所用があり変更して頂きましたが、来週初めての卓話の日を迎えます。皆様、大変お忙しい方々ですので、プライベート、仕事を最優先に来週の例会はご欠席ください。

3月14日のスマイル

山本良一君:本日のゲストは道場睦也(みちばむつや)君です。会員が一人増えるかも?よろしくお願いたします。

野村諒子君:今日は2時より野村の一般質問を行います。三島議会令和6年度2月議会の最後のトリをつとめます。ユーチューブで見れます。よろしくお願いたします。

高橋麻子君:本日、子供支援プロジェクト新春サッカー交流会で頂いた助成金の報告書を提出させていただきます。子供達へのご支援に感謝いたします。

宮澤友一君:緊張するー

石井司人君:早退させていただきます。

今回は初めての卓話ということで貴重なお時間を頂きまして誠にありがとうございます。今回は初めての卓話ということで自分の生い立ちと趣味嗜好を軽はずか話したいと思えます。

私は、1978年(昭和53年)8月に、せせらぎ三島ロータリーの元会員であります父・正昭、母・久美子の長男として、三島市三ツ谷新田に誕生しました。三ツ谷新田といえ、三島市の東側箱根の登り口に位置し、周辺の笹原新田・山中新田・市山新田など、いくつかの集落を総称して、坂地区と呼ばれる地域となります。三島市民にも知らない人がいるほどのマニアックな場所です。坂地区といえ、今でこそ箱根西麓野菜がブランド化され、三島スカイウォーク・山中城跡などの観光施設や、三ツ谷工業団地もできまして、大分発展してきました。しかし、自分の生まれたころはテレビもねえ「ラジオもねえ」「車もそれ程走ってねえ」そんな田舎でした。それは冗談ですので周りに坂地区の方などのお知り合いがいましてたらオフレコでお願い致します。

幼少の頃の私といえますと4歳の時に三島市立坂幼稚園に入園しまして、三島市立坂小学校という有名進学校にエリートコースで入学し、当時は神童と呼ばれておりました。(ウソです。)幼少期は戦隊ヒーローにはまり、当時はデジマン・サンバルカン・ゴグルファイブ・ダイナマン・バイオマン…等、毎週欠かさずテレビで見て、ごっこ遊びなどに明け暮れておりました。最近またおもしろい内容でしたらまた見たいです。ごっこ遊びと言っても戦隊モノやアニメのことでお医者さんごっこはしていません。戦隊シリーズといえば、赤(レッド)が主人公でリーダーということになりますが、私は昔から青(ブルー)、黒(ブラック)、緑(グリーン)とか主人公以外の脇役のキャラクターが好きでした。かなりひねくれていますが、ドラゴンボールも孫悟空は応援できず、クリンや天津飯などに目が行ってしまいますし、キャプテン翼も翼くんがドライブシュートを決めるより、石崎くんの顔面ブロックや若島津くんの三角飛び・立花兄弟のスカイラブハリケーンに注目してしまったり、スラムダンクも桜木花道より宮城リョータ・三井寿のまがが好きです。まあ、そんなことはどうでもいんですけど、話が逸れて申し訳ございません。知らない方は後ほど家か職場において検索してみてください。でも、今思えば将来の自分を形成する伏線が始まっていたのかもしれない。それは人の将来の思考が形成されると言われる中2から周りが巨人と言っていることに対して阪神とほざいてしまう未来の自分へと繋がっていきます。また、その辺のお話は後程お話致します。

小学校時代は基本インドア派ではございましたが、当時の時代背景もありますので外で元気良く友達とスポーツをしたりとかもありました。小3まではテストの成績も良く担任の先生からはこの地域のトップの高校には確実に入ると言ってくれました。小4からはその時の担任の先生のお言葉を胸に刻み、あぐらをかいてしまった為、ぜんぜん勉強をしなくなりました。そうしたら何となくことでしょう成績がみるみるうちに下がってくるではありませんか。墮落(だら)した人生の始まりです。そして、現在へと繋がっていきます。

勉強の話は置いておいて、小3からは地元のソフトボール少年団「坂少年ソフトボール」に入団しました。現在の野球好きになった礎と言っても過言ではございません。チームは三島市内でも強豪で私が在籍していた時もよく優勝争いをしておりましたし、実際に優勝もしました。その中でも私が小6の頃は近隣の先輩後輩からは当時の最強チームとも称されました。私はチームのエースで4番ということで活躍しました…とりたいところですが、主にライトで9番か代打のポジションでした。草野球で下手くそなおじさんがライトで8番通称ライパチと呼ばれるポジションですのでそれ以下なオマケです。

中学校は三島市立錦田中学校に入学しました。当時は1学年8クラス300人ぐらいの生徒の人数が詰め込まれた。小学校は1学年1クラス25人でしたのでその人数の多さと大多数を占める錦田勢のすでに出来上がっている人間関係で雰囲気にも飲まれてしまったのは覚えておきます。部活動はバスケットボール部に入部しました。当時は漫画の「スラムダンク」の人気が出始めた時代でしたので、バスケットは5つのポジションがあるのに対して、40人強の大人数が1学年で入部しました。当時は背も低く、入部の動機も近所のお兄ちゃんが入っていたからぐらいの考えでしたので1学期で友人5~6人と退部届を顧問に提出し、退部することとなりました。そして、2学期からは仲間と部活動として縛りが少ないパソコン部へと入部することとなりました。大人になりこんな体格になることを知っていたらもう少し何らかのスポーツなど打ち込めば良かったのと思います。パソコン部は特に大会とかありませんでしたが、一年に一度文化祭の時に生徒にゲームを楽しませようそんな部活でした。日々の活動としてはマニュアルを見ながらゲームのプログラムをちよつとずつ入力する程度でしたので、現在もパソコン関係のスキルはございませんのでそうら類いのロータリー活動は私に白羽の矢を立てないようお願い致します。部活動はそんな感じだったので、活動のほとんどは部員の仲間と談笑する時間ばかりでした。音楽の話、スポーツの話、芸能のネタ、部員も男子しかいなかったのちよつとエッチな話などなど…。特に当時スポーツはまだリーグなども発足前(中3の頃に開幕)なので大衆スポーツも少なく、プロ野球の話が多く、中2からプロ野球にどっぷりハマってしまい今日まで続いてしまいます。

1992年、中2の時に私の目に飛び込み込み潰れてしまったのは、何を隠そう「阪神タイガース」です。今でも悩んだ時とか心に支えてくれる命の恩人でもあります。ご存じない方もいらっしゃるかもしれませんが簡単に阪神タイガースを説明しますと1935年に大阪タイガースとして創設し、今年で90年を迎えます。前年の1934年読売ジャイアンツ(通称:巨人)に次いで創設された日本で2番目のプロ野球の球団となります。その2チームの戦いは「伝統の一戦」と言われ、かねてより数々の名勝負が繰り広げられてきた東西のライバル関係に当たります。優勝回数もしのぎを削ってきました。1950年リーグ分裂以降(セ・リーグ、パ・リーグに分かれる)ジャイアンツのリーグ優勝回数39回、日本一22回うち日本一9連覇(V9)も達成しております。ライバルのタイガースはリーグ優勝回数6回、日本一は2回、連覇は一度もございません。実績が拮抗していると思いきや大差がついている状況です。永久欠番(二度とほかの選手がつけてはならない背番号)先日、メジャーリーグのシアトルマリナーズでイチロー選手が野球殿堂入りしたことに際し、背番号「51」が永久欠番になりました。その永久欠番はジャイアンツは「1・王貞治」「3・長嶋茂雄」「4・黒沢俊夫」「14・沢村栄治」「16・川上哲治」「34・金田正一」の6名に対し、タイガースは「10・ミスタータイガース・藤村富美男」「11・サ・ベック投手・村山実」「23・牛若丸・吉田義男」の3名で半分です。以上のように阪神タイガースは伝統はありますが実績はありません。また、そこが阪神のかねるところでもあるんですけどね…。あつ、ジャイアンツファンはライバルと思っていないかもしれませんが…。

フランチャイズ(本拠地とも呼ばれます)の球場は、「阪神甲子園球場」となります。阪神甲子園球場は兵庫県西宮市にある球場です。創設時が大阪タイガースということ、大阪と言えは阪神と言う方もいますが、実は兵庫県のチームとなります。「甲子園」と略されて呼ばれ昨年、開業100周年を迎えたプロ野球(12チームの)フランチャイズの球場の中で最も歴史のある球場となります。ご存じ春と夏には高校野球の全国大会も行われる場所で高校野球の聖地とも言われる球場です。他の分野の高校生の大会でも〇〇の甲子園などと表現される高校生の対戦の代名詞ともされます。

三島の1-1-1の隣にあるパチンコ甲子園とはまったく関係ありません。グラウンドはフェアゾーンの面積は(フランチャイズの球場の中でも)最も広く、海岸に近い(地形もあり)、ライト方向からレフト方向へと強風が吹きます。通称「浜風」と呼ばれます。浜風のため、ホームランが出にくい「球場」と言われています。実際、タイガースからのホームラン王は1986年のランディー・バース以来38シーズン出ておりません。当時は、1991年に撤去されてしまいましたが外野スタンドの手前に投球練習場(通称:ブルペン)があった為、フェンスがもう少し手前がありました。ラッキーゾーンと呼ばれる場所です。そのラッキーゾーンがあった為、現在よりホームランも出やすい時代です。

先程お話ししたように小学生時代にソフトボールをやっていた関係で小学生時代からプロ野球に興味はありましたが、テレビでは家には当時BSもなく民放もジャイアンツ戦を毎日放映している時代でしたので、情報がジャイアンツしかなくジャイアンツファンでした。中学に入り、1年野球好きからは遠ざかりましたが、BSや新聞・雑誌などで他球団の情報を知ることになったのと同時にジャイアンツが他球団の主力を根こそぎかき集める時代になっておりました。中2の思春期の少年にとっては初めて大人のズルさ・汚さを知ってしまうことにもなり、ジャイアンツは自分の中でヒーローの代表となっていました。(ジャイアンツファンの方、誹謗中傷ではございません。)中学2年時の1992年のプロ野球・セントラルリーグはヤクルトスワローズ・読売ジャイアンツ・阪神タイガースの3チームが三つ巴で優勝争いをしておりました。当時のタイガースは1985年日本一以降低迷を迎えておりました。野球好きの方はご存知、2002年まで続いたタイガースの「暗黒時代」の真只中です。日本一の時に大阪ミナミ・難波の道頓堀川にケンタッキー・フライドチキンのカーネル・サンダース像を当時の主力ランディー・バースに見立ててファンが投げ込んでしまったいわゆる「カーネルの呪い」とも言われたそんな時代です。「カーネルの呪い」は野球を知らない方も聞いたことはあるかもしれません。その「暗黒時代」唯一、セ・リーグでAクラス(6チーム中・1~3位のこと)になったのが1992年なのです。

当時は、1985年の選手から若い選手に入れ替わり「亀新フィーバー」と言われ、ちょっとした社会現象の起きた年です。「亀新」の「亀」は亀山つとむという選手で俊足巧打の外野手で走塁でもヘッドスライディングをするような躍動感のある選手です。「新」は現在北海道日本ハムファイターズの監督でもあります新庄剛志外野手です。当時の登録は内野手でした。3年前には「BIG BOSS」と呼ばれていた男です。彼もまた、俊足巧打を売りとし、意外性のある打撃や鉄壁の守備を武器とした選手でした。阪神時代は「虎のプリンス」と言われておりました。世紀のお調子者として、色んなパフォーマンスなどをして、パ・リーグの集客を上げて盛り上げたのはまだまだ後の話です。また、阪神タイガース時代は整形手術しておけません。この亀新以外にも和田豊・八木・久慈や外国人はオマリー・パチョレックなどの打撃陣に投手陣は中込・野田・マイク仲田・湯舟・葛西などの選手が活躍しました。1985年優勝メンバーの岡田・真弓・平田などはまたまた出場するといふまさに世代交代の時代でした。終盤まで優勝争いを繰り広げておりましたが、惜しくも2位に終わってしまいました。その年、優勝したのはヤクルトスワローズです。当時は、野村克也監督の下、チーム力も上がり、ヤクルトの黄金期のスタートでもありました。中2の時にヤクルトファンを選択していれば、もう少し幸せな学生生活をエンジョイできたのかなと思ったときもありました。ちなみに、ヤクルトはそれから5年に一度ぐらいは優勝しております。

そこから、タイガースは2003年の優勝まで11年間優勝争いをまったくと言っていいほどできないとは当時想像もできませんでした。この11年間いろいろありました。

ジャイアンツと同じように他球団からのFAで大金を使い選手も補強しましたが、ことごとく外れてしまったり、若手も2003年の優勝の少し前ぐらいまでいい選手が育たず、中には大金をはたいて獲得した元メジャーリーガーが「神のお告げ」だとほざき、わずか7試合のみの出場で帰国した外国人選手もおりました。横浜スタジアムに野球観戦に行きますと隣接の横浜公園の広場では横浜ベイスターズとタイガースの応援団同士が「どちらが5位か最下位か？」で罵倒し、小競り合いをしておいたり、観客席では私の近くのビジター側の席にいたベイスターズファンが野次などに腹を立て殴り合いのケンカをしていたりなど…本当に観戦も殺伐とした状況でした。阪神ファンは民度が低いと思われる方もいると思いますが、恐らくこの時代の印象があるからではないかと思えます。そして、実際この期間は残念ながら最下位ばかりでした。当時はインターネットが普及していないのもありますが、弱く、観戦チケットも当日券で普通に前のほうの席に座れました。まさに、暗黒時代です。

ここ最近では阪神タイガースもドラフトで獲得したい選手たちを抱え、2003年優勝以降はそれなりに優勝争いをするようになり、優勝・2023年には2度目の日本一も達成することができました。阪神ファンも増え、観客動員数は12球団で1位の集客数です。ちょっとチケットが取りづらくなったのが少し悲しいですけどね。そう考えるとこのチームを応援していれば一番幸せだったのかと今でもたまに考えることがあります。当然、プロ野球の応援だけが私の幸せではないんですけどね。また、今年も2週間後からプロ野球のペナントレースが始まります。今年も自分は熱き「猛虎魂」をもって、ロータリー活動おまほどに阪神タイガースの応援に全力で取り組んでいこうと思っております。



### 委嘱状



米山奨学生カウンセラー  
高橋麻子君